LIGHT HOUSE
ライトハウス
〒152-0035 東京都目黒区自由が丘 1-16-13
TEL 03-3717-2711 FAX 03-3717-2721
http://www.lighthouse-jiyugaoka.jp e-mail gospel@lighthouse-jiyugaoka.jp
郵便振替口座 00120-6-170857 みずほ銀行 渋谷支店 普通 2382850（ライトハウス）

CFI ニュースレター C2023-05 「喜びの歌」

[今月の聖書]

「新しい歌を主に向かって歌い、喜びの声を上げて巧みに琴をかきならせ。」(詩篇 33: 3)

「恐れるな、私はあなたを贖った。私はあなたの名を呼んだ、あなたは私のものだ。
あなたが水の中を過ぎる時、私はあなたと共におる。川の中を過ぎる時、水はあなたの上にあふれることがない。あなたが火の中を行く時、焼かれることもなく、炎もあなたに燃えつくことがない。
私はあなたの神、主である。イスラエルの聖者、あなたの救い主である。」(イザヤ 43：1-3)

「あなたは、我が目に尊く、重んぜられるもの、私はあなたを愛するが故に、あなたの代わりに人を与え、あなたの命の代わりに民を与える。恐れるな、私はあなたと共にる。」(イザヤ 43: 4.5)

「すべて、わが名をもって唱えられるものを来させよ。私は彼らを我が栄光のために創造し、これを造り、これを仕立てた。」(イザヤ 43: 7)

「主は遠くから彼に現れた。私は限りなき愛をもってあなたを愛している。それ故、私は絶えずあなたに真実を尽くしてきた。」(エレミヤ 31: 3)

「しかし、まだ罪人であった時、私たちのためにキリストが死んでくださったことによって、神は私たちに対する愛を示されたのである」(ローマ 5: 8)

お元気でお過ごしでしょうか？今月は「喜びの歌」と題して、イザヤ書 43 章から、私たちに対する神の愛について学びましょう。その愛を知り、体験し、神の実在を実感したとき、溢れ出る賛美の歌があります。これこそ「喜びの歌」です。「新しい歌を主に向かって歌い、喜びの声を上げて巧みに琴をかき鳴らせ。」(33: 30)とダビデは歌いましたが、彼が大きな試練を乗り越えた時、過去に経験したことのない新しい喜びが湧き上がってきました。

旧約聖書の神は、イザヤ書を通して、イスラエル民族に対して特別の愛を注いでいることを示しています。しかし、新約聖書の神は、その愛の対象を全人類に向けています。そして全人類の救いのために、イエス・キリストを十字架上で犠牲とされました。神が「あがなった」と言う時、大きな犠牲が支払われたということなのです。

私たちの人生の苦しみが深ければ、深いほど、耐え難い不安と恐れの中にさいなまれればさいなまれるほど、神が「共にいて下さること」は大きな意味を持ちます。宇宙の創造者であり、人類全体の神であるお方が、どうして小さな私を認め、愛し、支えることができるのでしょうか。本当に不思議なことです。しかしイザヤ書 43 章 4 節は、「あなたは我が目に尊く、重んぜられるもの」と記録しています。2700 年前に書かれた言葉ですが、今も変わらない真理なのです。

もしそうで、あるならば、大声で歌い、感謝せずにはいられません。

今月は母の日を通して母の愛に対して感謝を捧げる時です。母の愛もまた、神の偉大な愛の断片を私たちに体験させてくれるものですね。あなたの毎日の生活の中に「喜びの歌」が満ち溢れますようにお祈りいたします。

小田 彰

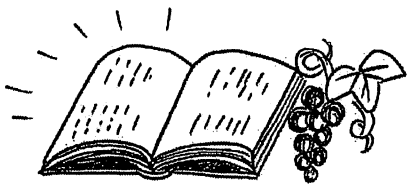
(お知らせ)

＊「喜びの歌を共に」が 5 月 5 日 13：30 淀橋教会において開かれます。ぜひご参加ください。
出席のご連絡をいただけましたら幸いです。喜びに満ち溢れた賛美にご参加くださる時、きっと新しい力が湧き上がってくると信じ祈ります。

◇◆◇ ＣＦＩ会員投稿原稿　第 89 ◇◆◇

「３０年を振り返って」

高橋潔（ 神奈川 ）



突然のお便りをお許しください。いつも CFI の CD をお送りくださいまして、誠にありがとうございます。昨年 11 月、紀尾井ホールでのメサイアを聴きに伺いました。先生の元気なお姿に接することができ、 聖なる歌声と共に、心洗われる時間を過ごすことができ、 祝福に包まれました。その節は、長時間にわたる指揮で、大変お疲れになったのではないかと拝察申し上げます。

ところが、 先月頂いたライトハウスの通信文の中に、「昨年暮れに救急搬送され・・・」 とあり、大変驚きました。どうかお大事にしてください。

私がバプテスマを受けましたのは、 今からちょうど 30 年前です。ふじみキリスト教会の合宿が赤城山荘で行われ、 そこに参加した際、小田先生の宣教をお聴きする機会を得ました。

お話の後半、 決意を問われる中で、 突き動かされるようにその場で手を挙げ、 その後の受浸に至りました。

小田先生には、バプテスマを受ける大切なきっかけをいただき、心から感謝申し上げる次第です。

以来、 決して熱心とは言えない信仰生活ではありますが、絶えず道を照らす灯であり、時にガードレールだったりと、自身の人生においてなくてはならない道標をいただいています。

私は、 大学卒業後すぐに障害児・者の入所施設に入職し、 今年 3 月をもってその施設の職員生活 40 余年を終えることになりました。在職中、歩むべき道を見失いそうになったり、 歩むこと自体のエネルギーが枯渇しかかったりが、 何度かありましたが、その度に、 教会牧師より聖書の言葉をご紹介いただき、 神様の奇跡の力に守られて今日まで続けることができました。これからも佳きご教導のほど、よろしくお願いいたします。

「残された使命」

松本　智映（神奈川県　森眞弓姉友人）

ずっとずっと、私のアロママッサージを喜んで受けてくださり、待っていてくださった事は、私にとってもこの上ない喜びでした。ありがとうございました。自分を必要としてくださる方がいる、そのことが辛い手術と痛みの中にあって、仕事に復帰する大きな励みになりました。

昨年病気が判明した(早期の肺腺癌)直後に、メサイアのコンサートがありました。電光掲示板にイザヤ書 53 章 3 節の「悲しみの人で、病を知っていた」と写し出された時、ああ、神様は私のこの病の悲しみも聞いてくださるのだと思い、涙が出ました。とても癒され、励まされたのを覚えています。葛藤の中にあって、ずっと張りつめていた心の重荷をおろせた瞬間だったと思います。神様はこのようにして、必ず助けを下さる方であることを感謝しました。

入院中も、チェコにいる友人が、朝に夕に、毎日励ましの祈りと御言葉を LINE で送ってくださり、手術の時も、神様に全てお任せし、平安の中で手術に臨むことができました。今でも、まだ傷の痛みと肋間神経損傷のための神経痛が左胸にあり、痛み止めの薬を飲んでいますが、少しずつ良くなっています。肺活量も落ちてしまったので、今はまだ息が切れることがありますが、それは徐々に戻っていくのだそうです。神様に生かされた命と思っています。まだ私には主から与えられている使命が残っていると思っています。それが何かは分かりませんが、生まれ変わった気持ちで神様に使えていきたいと思っています。